

今号の主な内容

市環境基本条例・人権の森構想3 ……2面 夏の子ども特集 ……3~6面 児童・健康・歴史館 ……7面 消費生活・リサイクル・官公署 ……8面



贈呈式で尺八を演奏する青木氏

琴古流尺八奏者として活躍されている多摩湖町在住の青木鈴慕さんに、表彰審査を経て去る6月26日、市民栄誉賞を贈呈しました。

青木さんは古典芸能の発展に貢献され、人間国宝に認定されるほか、学問・芸術などで功績があつたかたに贈られる紫綬褒章を本年春に受賞されています。

尺八を通しての国際的活躍が、東村山市民に誇りと明るい希望と活力を与えるものとして、今回市民栄誉賞を贈呈しました。 秘書課

青木氏 受賞のことば

地元から思いがけず賞をいただき、大変うれい。 昭和47年に、子どもの健康を気づかい、空気のよい東村山の多摩湖町に移り住み、今に至ります。 これからもがんばっていきます。

人間国宝・青木鈴慕さん(尺八奏者)に 市民栄誉賞を贈呈

細洲市長から表彰権を受ける青木鈴慕氏(右)

歴史館夏の企画展

写真機からカメラへ

~仲間コレクションより~

期間 7月20日(祝)~9月15日(祝) 場所 ふるさと歴史館特別展示室

企画展関連公演 親子で見る「写し絵」 年ほど前のスライド又は映画のようなもので、「風呂(ふろ)」と呼ばれる投影機を使い、ガラスに描かれた絵を和紙のスクリーンに投影させ、語りにあわせて動かすというものです。



1854年にアメリカで撮影されたダゲレオタイプ

約150年前に誕生した当初のダゲレオタイプ、コロジオンタイプに続いて登場した乾板カメラは、街頭写真師が使用した巨大なものから、携帯のできるコンパクトなものまで様々なタイプがあります。これらを紹介します。

内容 写真機の誕生

ダゲレオ・コロジオンタイプから乾板写真へ



乾板カメラ(アメリカ)

市内在住の仲間清さんが集めたカメラコレクションの中から、カメラの歴史がわかる逸品約100台を展示します。中でも乾板カメラ、蛇腹式カメラ、一眼レフなどは歴史的にも貴重なものがそろっており、またライカなどの高級機もとりまぜてカメラの魅力に迫ります。 趣味と実用の両面を兼ね備えた機械であるカメラが誕生して約150年、その間どのような発展を遂げてきたのか、仲さんのコレクションをお借りして検証します。



昨年の「写し絵」公演の様子



コンパクトカメラの元祖 スプリングカメラ レチナ I (ドイツ)

現在のようなロールタイプフィルムが登場し、カメラはより身近なものになっていきました。カメラのセットが瞬時にできるスプリングカメラをはじめ、様々なアイデアが盛り込まれた便利なカメラが登場します。

写真機からカメラへ



スコピル社製 乾板カメラ(アメリカ)



日本の一眼レフの元祖 アサヒフレックスI(日本)

35ミリ小型精密カメラの最高峰 ライカD型(ドイツ)

35ミリ判を決定づけるカメラとして登場したのがドイツのライカです。また戦後の日本は、安価なカメラを数多く作成しますが、その出来はドイツに及ぶものではありませんでした。やがて日本のメーカーは一眼レフに目を向け、カメラを発展させていきます。

カメラの発展

ライカの栄光と日本のカメラ



蛇腹式カメラ 3Aフォールディングポケット コダック(アメリカ)

3~6面は夏の子ども特集 今年も夏休みがやってくる! 小・中・高校生みなさんのために いろいろな情報を集めました。



親子で作るピンホールカメラ講座 も開催予定 8月24日(土)に、ピンホールカメラ(小さな穴をレンズ代わりに使ったカメラ)を親子で作る講座を開催します。募集等詳細は、市報8月1日号に掲載します。

ギャラリィコーナー クラシックカメラ・フォトギャラリィ 仲さんが戦前・戦中撮影した写真を展示します。 ウィークエンドフォトギャラリィ 市民による写真作品発表の場としてウィークエンド・フォト・ギャラリィを公開します。 日程 7月20日~8月25日の土・日曜日 場所 ふるさと歴史館研修室